

製品名: MYL3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14307**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	MYL3 MYL3; Myosin light chain 3; Cardiac myosin light chain 1; CMLC1; Myosin light chain 1; slow-twitch muscle B/ventricular isoform; MLC1SB; Ventricular/slow twitch myosin alkali light chain
別名	
遺伝子 ID	4634.0
SwissProt ID	P08590
免疫原	抗血清はヒト MYL3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

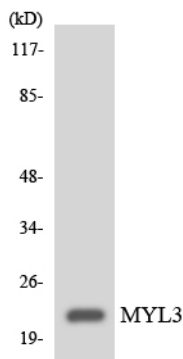
背景

MYL3 は、ミオシン軽鎖3 をコードします。これはアルカリ軽鎖であり、文献では心室アイソフォームおよび骨格筋遅筋アイソフォームとも呼ばれます。MYL3 の変異は、中左室心室型肥大型心筋症の原因として同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患：MYL3 の欠陥は、家族性肥大型心筋症 8 型 (CMH8) [MIM:608751]の原因です。家族性肥大型心筋症は、通常は非対称性の心室肥大を特徴とする遺伝性心疾患で、しばしば心室中隔が侵されます。症状には、呼吸困難、失神、虚脱、動悸、胸痛などがあります。これらの症状は運動によって容易に誘発される可能性があります。この疾患は、良性から悪性まで、家族内および家族間で多様性があり、心不全および突然死のリスクが高い。CMH8 の遺伝形式は常染色体優性または劣性である。疾患：MYL3 遺伝子の欠陥は、中左室心室肥大型心筋症 1 型 (MVC1) [MIM:608751]の原因である。MVC1 は、中左室心室肥厚を特徴とする家族性肥大型心筋症の非常にまれな亜型である。機能：ミオシンの調節性軽鎖。カルシウムと結合しない。PTM：N 末端がブロックされている。類似性：3 つの EF ハンドドメインを含む。サブユニット：ミオシンは、2 つの重鎖と 4 つの軽鎖からなる 6 量体である。

研究分野

心筋収縮;肥大型心筋症 (HCM);拡張型心筋症;

画像データ



MYL3 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



MYL3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析